



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 節生
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR部長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（国内機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	111,360	5.4	10,465	△8.3	11,779	△2.2	9,334	14.7
2022年6月期第2四半期	105,679	26.1	11,412	95.1	12,045	99.7	8,135	79.1

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 6,695百万円 (△37.3%) 2022年6月期第2四半期 10,671百万円 (86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	189.53	—
2022年6月期第2四半期	165.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	341,355	196,459	55.8
2022年6月期	354,304	196,484	53.3

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 190,320百万円 2022年6月期 188,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	—	—	124.00	124.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	123.00	123.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△4.7	24,000	△20.2	27,500	△14.6	20,000	△1.0	406.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）アルバック東北株式会社

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	49,355,938株	2022年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	106,983株	2022年6月期	106,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	49,248,959株	2022年6月期2Q	49,249,007株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	13
(1) 販売実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2022年6月期第2四半期 連結累計期間	2023年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (増減率)
受注高	144,573	129,110	△10.7%
売上高	105,679	111,360	5.4%
営業利益	11,412	10,465	△8.3%
経常利益	12,045	11,779	△2.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	8,135	9,334	14.7%

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、穏やかな回復基調で推移しましたが、原材料価格の上昇やサプライチェーンの混乱、部材不足の長期化、各国のインフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念の高まりなど、先行きに対する不透明感が高まりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、半導体業界では、スマートフォンやパソコンなどの需要減速に伴い半導体製造装置の設備投資計画を見直す動きがみられました。エレクトロニクス分野では、グリーンエネルギー化・EV化進展等に伴うパワーデバイス投資、スマート社会の実現に向けた各種電子デバイス投資や中国の国産化投資が引き続き活発でした。フラットパネルディスプレイ（FPD）業界においては、前年度、活発化したタブレットやパソコン・車載用などITパネル用液晶投資の反動減の影響がありますが、スマートフォン、タブレットなどの液晶から有機ELへのシフトに対応した大型基板の有機EL投資が今後増加することが期待されています。また、EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上実現に向けた取り組みもみられます。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,291億10百万円(前年同期比154億64百万円(10.7%)減)、売上高は1,113億60百万円(同56億81百万円(5.4%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は104億65百万円(同9億47百万円(8.3%)減)、経常利益は117億79百万円(同2億66百万円(2.2%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、93億34百万円(同11億99百万円(14.7%)増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2022年6月期第2四半期 連結累計期間	2023年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (増減率)
受注高	123,653	106,640	△13.8%
売上高	86,953	90,817	4.4%
営業利益	10,417	8,482	△18.6%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD製造装置)

FPD製造装置は、前年度、活発化したITパネル用液晶投資の反動減の影響により、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体及び電子部品製造装置は、ロジック向け投資の寄与、パワーデバイス・オプトデバイス等の投資活発化、中国のエレクトロニクス国産化に向けた投資活発化などにより、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(コンポーネント)

コンポーネント事業は、半導体電子・EV用バッテリー・民生機器関連の投資活発化により、真空ポンプ・計測機器・電源機器などが好調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などが寄与し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,066億40百万円、受注残高は1,216億12百万円、売上高は908億17百万円となり、84億82百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2022年6月期第2四半期 連結累計期間	2023年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (増減率)
受注高	20,921	22,470	7.4%
売上高	18,726	20,543	9.7%
営業利益	960	1,902	98.1%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

FPD関連の装置稼働率低下等により受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(その他)

表面分析機器関連や高精細・高機能ディスプレイ向けマスクブランクス関連が好調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は224億70百万円、受注残高は145億24百万円、売上高は205億43百万円となり、19億2百万円の営業利益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ、129億49百万円減少となりました。主な要因は、棚卸資産が79億50百万円増加した一方で、現金及び預金が182億79百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が42億42百万円それぞれ減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、129億23百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が73億83百万円、未払法人税等が17億5百万円、長期借入金が15億41百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、26百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が32億14百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が24億12百万円、非支配株主持分が13億69百万円それぞれ減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、棚卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、24億20百万円の支出（前年同期は92億32百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、59億98百万円の支出（前年同期は32億96百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、配当金の支払、長期借入金の返済などにより、79億76百万円の支出（前年同期は85億円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、175億70百万円減少し、895億36百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月9日に公表しました2023年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日（2023年2月13日）公表しました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）本資料に記載の業績見通し並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,040	99,761
受取手形、売掛金及び契約資産	86,331	82,089
商品及び製品	4,500	5,695
仕掛品	29,090	33,796
原材料及び貯蔵品	15,849	17,898
その他	10,562	9,482
貸倒引当金	△525	△533
流動資産合計	263,847	248,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	26,883	25,799
機械装置及び運搬具 (純額)	15,735	15,205
工具、器具及び備品 (純額)	1,774	1,761
土地	8,360	8,177
リース資産 (純額)	3,157	3,580
建設仮勘定	9,087	13,271
有形固定資産合計	64,995	67,794
無形固定資産		
リース資産	27	20
ソフトウェア	1,603	1,749
その他	2,085	2,132
無形固定資産合計	3,715	3,900
投資その他の資産		
投資有価証券	6,882	7,543
繰延税金資産	6,990	6,315
その他	9,869	9,567
貸倒引当金	△1,995	△1,953
投資その他の資産合計	21,746	21,473
固定資産合計	90,457	93,167
資産合計	354,304	341,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,030	47,647
短期借入金	9,618	10,382
リース債務	679	833
未払法人税等	3,813	2,108
契約負債	25,245	24,155
賞与引当金	5,918	5,329
役員賞与引当金	404	181
製品保証引当金	1,387	1,556
受注損失引当金	16	17
その他	14,651	12,610
流動負債合計	116,762	104,819
固定負債		
長期借入金	29,910	28,369
リース債務	2,562	2,972
繰延税金負債	128	231
退職給付に係る負債	7,400	7,363
役員株式給付引当金	272	336
資産除去債務	416	419
その他	368	388
固定負債合計	41,057	40,078
負債合計	157,820	144,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	152,514	155,728
自己株式	△344	△344
株主資本合計	176,955	180,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,440	1,812
為替換算調整勘定	12,282	9,870
退職給付に係る調整累計額	△1,700	△1,531
その他の包括利益累計額合計	12,022	10,151
非支配株主持分	7,508	6,138
純資産合計	196,484	196,459
負債純資産合計	354,304	341,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	105,679	111,360
売上原価	73,556	78,065
売上総利益	32,122	33,296
販売費及び一般管理費	20,710	22,831
営業利益	11,412	10,465
営業外収益		
受取利息	96	153
受取配当金	264	189
持分法による投資利益	392	386
その他	935	1,171
営業外収益合計	1,687	1,898
営業外費用		
支払利息	206	223
新型コロナウイルス感染症対応費用	440	—
その他	408	361
営業外費用合計	1,054	584
経常利益	12,045	11,779
特別利益		
関係会社株式売却益	670	—
固定資産売却益	—	150
特別利益合計	670	150
特別損失		
減損損失	333	35
特別損失合計	333	35
税金等調整前四半期純利益	12,382	11,895
法人税、住民税及び事業税	3,342	2,774
法人税等調整額	535	518
法人税等合計	3,877	3,291
四半期純利益	8,505	8,603
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	370	△731
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,135	9,334

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	8,505	8,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	375
為替換算調整勘定	1,829	△2,232
退職給付に係る調整額	136	169
持分法適用会社に対する持分相当額	197	△221
その他の包括利益合計	2,166	△1,908
四半期包括利益	10,671	6,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,179	7,463
非支配株主に係る四半期包括利益	493	△768

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,382	11,895
減価償却費	4,126	3,925
減損損失	333	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	128	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,292	△437
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44	228
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	37	64
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	119	201
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△861	1
受取利息及び受取配当金	△360	△341
支払利息	206	223
持分法による投資損益 (△は益)	△392	△386
関係会社株式売却損益 (△は益)	△670	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△150
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,941	3,197
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,410	△8,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,535	△7,350
契約負債の増減額 (△は減少)	4,531	△332
未払消費税等の増減額 (△は減少)	221	△852
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,354	2,584
その他	△969	△1,141
小計	11,705	2,564
利息及び配当金の受取額	388	410
利息の支払額	△204	△216
法人税等の支払額	△2,656	△5,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,232	△2,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,254	△12,268
定期預金の払戻による収入	9,594	12,625
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,545	△6,929
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	431
関係会社株式の売却による収入	700	—
その他	209	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,296	△5,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	25	535
長期借入れによる収入	—	1,800
長期借入金の返済による支出	△2,743	△3,101
配当金の支払額	△4,681	△6,102
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△1,100	△1,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,500	△7,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	951	△1,175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,613	△17,570
現金及び現金同等物の期首残高	83,061	107,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,449	89,536

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったアルバック東北株式会社及びアルバック九州株式会社は当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国の連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、借手のリースは、原則として全てのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	33,089	14,682	47,771	—	47,771
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	53,864	4,044	57,907	—	57,907
顧客との契約から生じる収 益	86,953	18,726	105,679	—	105,679
外部顧客への売上高	86,953	18,726	105,679	—	105,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,771	815	2,586	△2,586	—
計	88,724	19,542	108,265	△2,586	105,679
セグメント利益	10,417	960	11,377	35	11,412

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	36,254	16,028	52,282	—	52,282
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	54,562	4,516	59,078	—	59,078
顧客との契約から生じる収 益	90,817	20,543	111,360	—	111,360
外部顧客への売上高	90,817	20,543	111,360	—	111,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	485	1,460	1,945	△1,945	—
計	91,302	22,003	113,305	△1,945	111,360
セグメント利益	8,482	1,902	10,384	81	10,465

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	90,817	104.4
真空応用事業	20,543	109.7
合計	111,360	105.4

(注) 1. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD製造装置	28,860	31.8
半導体及び電子部品製造装置	36,575	40.3
コンポーネント	14,616	16.1
一般産業用装置	10,766	11.8
計	90,817	100.0

2. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	9,769	47.6
その他	10,774	52.4
計	20,543	100.0